

みあさづくり



小さな拠点講演会を開催しました。

当初、3月に計画していた講演会ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期していたキックオフ・イベントを7月16日に開催しました。

当日は感染防止対策として、長野県のガイドラインに基づき、参加者数を会場定員の50%以下とすること、検温や手指の消毒などの感染防止対策を徹底しての開催となりました。

講師に東京大学大学院工学系研究科の新雄太先生を迎え「小さな拠点」についてとてもわかりやすくお話しいただきました。講演内容は、先生のご理解をいただきインターネットでライブ配信させていただきました。編集した動画は期間を限定して公開しています。

動画はコチラ →



facebook



ホームページ美麻Wiki

《地域の話題》

令和2年7月豪雨災害

今年は7月の1ヶ月で400ミリを超える降水量があり、各地区で道路・河川等に被害が発生しました。

大塩では、大塩集落基幹センター下に埋設された暗渠管が詰まり、雨で水量が増していた小沢川の水が溢れ、基幹センターが床下浸水しました。

(写真①)

青具の片岡地区では、片岡ダム下流で片岡沢横の斜面が崩落し、10本以上の倒木が発生しました。

(写真②)

また、千見の外山地区では市道脇の斜面が大きく崩落し、市道を完全に塞いでしまいました。

(写真③)

この雨により、県道を含め6箇所以上で倒木があり、市道の路肩崩落や土砂流入も20箇所以上

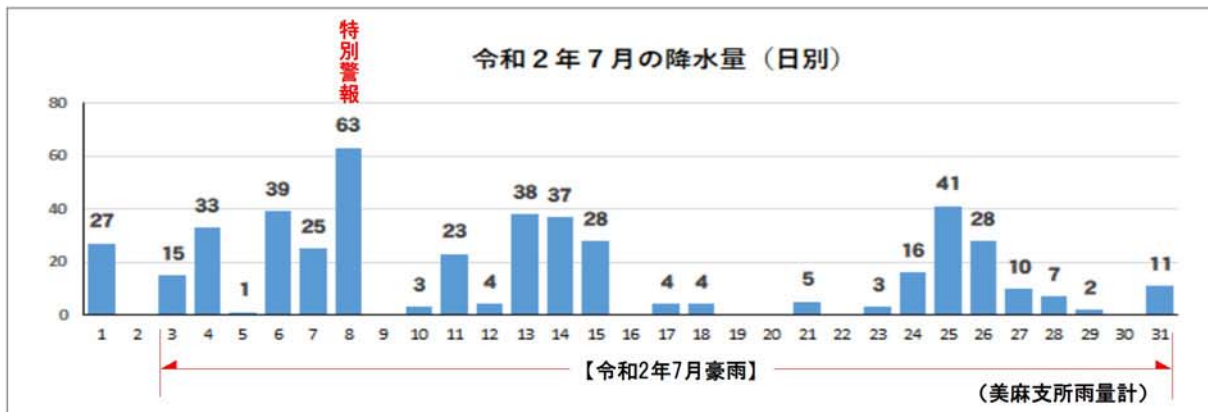
で発生しました。

美麻支所では今回の豪雨を受け、おおしお市民農園管理棟と青具のふれあいセンターを避難所として開設しましたが、幸い住宅への被害がなかったため、避難された方はいませんでした。

美麻地区は中山間地に位置するため、地すべり危険箇所や土砂災害警戒区域が多くありますので、大雨時には早めの非難を心がけていただきたいと思います。

なお、今回の豪雨による災害で、被害の大きい箇所や山中の箇所などで未復旧となっている箇所があります。大変ご迷惑をお掛けしていますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

(美麻支所産業建設係 小林)



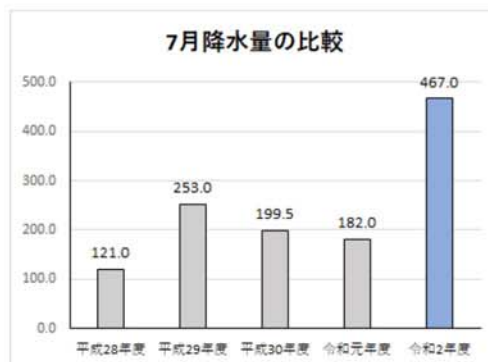
①大塩 集落基幹センター床下浸水(7/8撮影)



②青具 片岡沢 崩落(7/10撮影)



③千見 外山 山腹崩落(7/17撮影)



例年のおよそ2倍以上の雨が降りました。

(美麻支所雨量計)

《地域の話題》

たくさん掘れたよ！ジャガイモ掘り



夏の日差しが強い8月6日、美麻総合福祉センター『梨嶺』の裏側にある畑のジャガイモを掘りました。

美麻公民館「お手伝いし隊」の事業として今年度は「児童クラブ」の子供たちと一緒に行いました。

当日は子どもも大人も協力をして春先に植付をしたジャガイモを掘りました。普段はなかなか体験ができない作業ですが、子供たちは慣れない手つきで一生懸命に掘りました。全体的には小さな芋でしたが中には大きな物もあり、掘り当てると歓声を上げて喜んでいました。

芋ほりの後はキュウリの収穫も体験しました。ハサミで1本ずつ収穫をしてその場で「みそ」をつけて食べました。休憩の時にはご褒美にアイスクリームも出して頂き、今日一番の笑顔で食べていました。子供たちは土と触れ合う機会が減ってきているので、これからも、色々な体験をする事業を計画していきたいと思っています。（美麻公民館）

苔玉教室を開催

8月1日、今年度初めての教室として、ほかほかランド美遊を会場に苔玉教室を開催しました。当日は、小学生を含め16名の方に参加していただきました。最初に、苔玉の土づくりです。ケト土と赤玉土に水を加え、野球ボールくらいの大きさで、耳たぶくらいの硬さになったら用土は完成です。

次に、準備してもらった苔と植物を個々に選び、苔玉の会の方から教わりながら植物と苔を用土に貼り付け、

糸を巻き付けました。後は、自分で持ってきた器等に飾り付けて完成です。木の切り株に、数個の苔玉を飾り付けた参加者もいて、それぞれに素晴らしい作品ができました。

参加者は、管理の方法について質問したり、会員の人が作った作品を見学に行ったりして、良い交流もできました。公民館から、秋に開催予定の文化祭への作品展示をお願いし、終了しました。（美麻公民館）



敬老の日おめでとうございます

毎年9月に開催を予定しております敬老会につきましては、現在新型コロナウイルスの感染が拡大している厳しい状況の中で、情勢の変化を十分に見極めつつ、どのような形をとるべきか実行委員会にて協議して参りました。

その結果、現下の状況では、高齢者が一堂に会して式典を行うことは、感染リスク・感染拡大の危険性から、極めて困難な状況であると判断し、参加者の皆様の健康と安全を最優先に考え、令和2年度の敬老会を中止とさせていただきます。

実行委員会といたしましても力を合わせ、開催に向けて準備をして参りましたが、苦渋の決断をせざるを得ない状況となり、この日を楽しみにされていた皆様には大変申し訳なく、心苦しい気持ちでいっぱいです。

楽しみにしていたご対象者様やご家族様にはご迷惑をお掛けいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

なお、ご対象者の皆様へは、9月の中旬から下旬にかけて、お祝いの記念品などをお届けさせていただきます。

何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

(美麻地区敬老会実行委員会)

《保育園の話題》

トマト&ブルーベリー狩りに行ったよ！

二重の吉沢岑夫さんのお家にトマト狩りに行きました。吉沢さんは10年以上前からずっと招待して下さっています。ハウスの中にはピカピカなトマトがたくさん実っていました。いちばん赤いトマトを見つけていくうちに、あっという間に子どもたちのビニール袋はパンパンになっていました。取った後は吉沢さんちのお庭でトマトを食べさせていただきました。大きなトマトにかぶりつく子どもたち、とてもいい顔をしていました。

また、二重の佐藤修一さんのお家にも招待していただきました。子どもたちはいちご狩りのように採っては食べ、袋に入るより、お腹に入る方が多かったと思

います。別れ際に「お仕事がんばってねー！」と、声をかける優しい子もいて、心が温くなりました。

その後、バスに乗って、新行の種山博茂さんのお家にブルーベリー狩りに行きました。初めて経験する子どもも多く、ドキドキワクワクの子どもたちでした。どんな実をとったらいいか、ハチがいたらどうするかも教えていただきました。おじちゃんやおばちゃんといろいろな話をしながら楽しい経験ができました。「ブルーベリーパーティーをする！」と大喜びの子どもたちでした。

地域の方々を支えられ、保育園の子どもたちは本当に幸せです。(みあさ保育園)



みあさ保育園プール参観！

8月5日にみあさ保育園プール参観がありました。当日は長～い梅雨が明けて、子どもたちも待ちに待った絶好のプール日和でした。

水なんてへっちゃん、とっても気持ち良さそう。みんなキラキラ笑顔！見ているこっちまでも入りたくなるくらい。参観時間内では、年齢別で様子も見せてもらい個々の成

長を感じる事ができました。最後は、みんなでフラフープにつかまり先生に引っ張ってもらって大はしゃぎ！しっかりとまとまって楽しむことができるのは、みんないつも仲良く遊んでる証拠。とても充実した参観日でした。

(みあさ保育園保護者会 柏原)

《コミュニティ・スクール of 話題》

「いちねんせいの おいけ」物語

1年生は今、「おいけづくり」に夢中です。6月。教室で飼っていたおたまじゃくしが死んでしまったことをきっかけに、たくさんの生き物がのびのびと暮らせる「おいけ」をつくりたいと願い、南側の庭の一角を掘り始めました。来る日も来る日もどろんこになって、力を合わせて掘りました。土の中から出てくるたくさんの「もの・生き物」との出会いに歓声をあげたり、「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声で大きな石を掘り出したり、木の根っこを力比べをしたりと、毎日大笑いしながらおいけづくりを進めました。今では、お友だちがすっぽりと胸まで入る深さです。完成に向けて、2学期もがんばるぞ！

(文責 1年担任 竹村 沙織)

- ・おいけをほるのがたのしい！2がっき、かんせいしたいです。おいけのまわりでみんなであそぶのがたのしみです。(塚田 和希さん)
- ・おいけづくりはいろいろなものがでてくるからすき。かんせいしたら、おたまじゃくしみたいにしなせないで、ちゃんとさかながいきてほしいです。(菅野 まるさん)



《コミュニティ・スクールの話題》

自分について考える ～アドベンチャー教室～

7月21・22日の1泊2日で、7・8年生は小谷村にあるアウトワードバウンド長野校へ「アドベンチャー教室」に出かけました。この学習のテーマは「様々な体験を通して、自分が何を思い、その理由を追求し、どうしていきたいのかを考えることのできる機会をもつこと」でした。

参加者全員が7～8人のグループで自炊生活をしながら様々な実習をします。その中で、いくつかの課題があり、それを解決していきました。活動中は、グループに一人ずつスタッフがつき、子どもたちが直面した場に応じて様々な問いかけをし、子どもたち自身で考えて課題を解決していく活動を設けてくれました。勿論、コロナ禍の中、感染予防対策をできる限り万全にして活動に取り組むことも忘れませんでした。

子どもたちは、このチャレンジを通して体験した、自分の気持ちに目を向け、どうありたいかを確認することは今後の学校生活にとどまらず、きっと、人生の中で困難なことに直面した時に生かされるのではないかと思います。(文責 宮下映美)



猿の襲来・・・花豆を育てるって大変なあ～ ～花MAME株式会社 運営中間報告～



7月6日、大雨。いつも通りの昼休み。ランチルームの外の花豆畑に来た猿たち。今までは、たくさんいるな

あとしか思っていなかった。しかし、名前をつけて成長を楽しみにしていた花豆が荒らされた。“猿と戦う農家”吉沢さんは、「今日明日が山場で、間違いなく猿は来る」と言っていました。

この経験からくる言葉の重さに驚きました。そして、美麻にとって猿の問題は、とても大きいことを学びました。

豪雨の中、慌ててネットをはり応急処置。そして7月16日(木)合津さんや前川さん、川上さんの協力を得て、電気柵を設置した。周りの木を切ってくれた松原先生、山崎先生にも感謝します。

8月12日現在、花豆はどんどん膨らんで、大きな実をつけています。無事育ててほしいと思います。そして育てるって大変なんだ、土作り、草むしり、虫、鳥、そして猿。それから、雨・・・簡単にとれるなんてとんでもない!と思い直しました。

去年よりも一歩深く、花豆と美麻のことを学べていると思います。

(花MAME株式会社 代表取締役社長 阿久津幸太)

フレイフレーみあさ

新型コロナウイルス感染予防のため、多くの行事が縮小・延期・中止となりました。

部活動の大会も、一時は中止の声が聞こえましたが、代替大会が開かれることとなり、本校からはバドミントンと野球が中信地区大会へ出場しました。6年生を中心とした壮行会が開かれ、全校の応援を受けて大会に臨みました。

また、下記に今後の予定を掲載いたしました。

新型コロナウイルス感染状況によっては、さらなる変更も予想されますが、地域の皆様からのご協力とご理解をいただきながら、子どもたちのための学校運営を行って参ります。

(文責 副校長 鈴木康貴)



今後の予定

- 9月17日(木) ごみゼロの日
- 9月18日(金) 夢の時間発表会
- 10月2日(金) 梨の木祭・運動会
- 10月3日(土) 梨の木祭・音楽会
- 10月6日(火) 民生児童委員との懇談会
- 11月9～10日(月～火) 9年生修学旅行

- 11月20日(金) 学校公開
- 12月11日(金) 学校運営協議会②
- 12月28日(月) 2学期終業式
- 1月6日(水) 3学期始業式
- 2月4日(木) 来入児一日入学
- 2月18日(木) 学校運営協議会③
- 3月17日(水) 6年生修了式 兼 3学期終業式

大町民話の里づくりもんぺの会

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～

連載

その2

昔のことを回想するという事は、とても脳に刺激を与えることなのです。
2018年度的美麻地区の介護予防教室におい

て依頼を受けて、もんぺの会の中島と丸山は各地区へ出向きその地域の民話の語りをする事になりました。

口碑伝説「二」今回は、青具のお話です。

万中の天狗様

万中集落の東にかなり高い峰が北から南に横たわっている。

峰の南端の県道に臨んだ東向き崖がある。面積も広く見事な岩である。「天狗岩」とよばれ、上に天狗を祀った祠があり「赤岩大天狗」雄天狗がいた。川をはさんだその向かいの花尾にも「天狗岩」があり、「平岩大天狗」雌天狗がいた。

雄天狗も雌天狗も太鼓が大好きだった。村祭りが近づくとわくわくした。村の若者たちがそろってやってきて、天狗岩の祠に向かって「太鼓打ちに力を貸して下され」と、頭を下げて頼んだ。若者たちが太鼓を打ち出すと、雄天狗も雌天狗も力を入れて太鼓を打ち鳴らした。村の若者たちが打つ太鼓も息ぴったり合って盛り上がり上がった。スットン スットン スットン スットン スットン スットン スットン スットン イヤハー・・・

それがいつの頃からか、天狗の祠をお参りする村人も減り、祭りの太鼓の力添えを頼みに来る若者の姿もなくなつた。

明治の初めころだった。岩の上でしきりに太鼓の音がするの、みんなで見に行つたが、その岩の上には誰もいない。村人は気味悪がって。万中の浅之助という山伏にお願いして、座を建ててみた。「その昔、岩の上の祠に奉られた赤岩大天狗の仕業である。」という。「おそろく、村人の暮らしを見守っていた赤岩大天狗が村人に忘れ去られ、業を煮やしていたすうらしたに違いない。」さっそく村人は、大岩の下にある洞窟に拜殿を建て、「大岩神社」と名付けて神楽などを奉納し、大切に供養することにした。その後、明治四〇年「大岩神社」は「青具神社」に合社されたが、むかしの祠は、今もその名残(なごり)を残している。



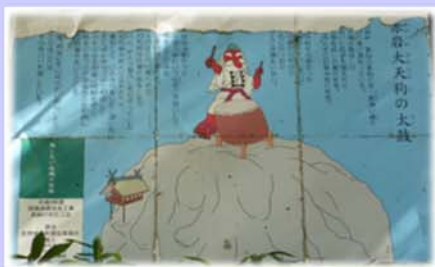
天狗岩洞門（西側から）



天狗岩洞門（東側から）

木の葉が落ちると見えるが、この上に大岩があり赤岩大天狗（雄天狗）の太鼓の音が鳴り響いた（万中）。

洞門の脇にお話の看板があります。



《お知らせ》

イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年度予定されていたイベントが中止となりましたのでお知らせします。

※令和2年8月23日現在

【中止となったイベント】

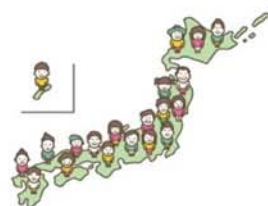
- ・美麻地区ロードレース大会
- ・メンドシーノ国際交流事業
- ・美麻地区敬老会

国勢調査にご協力ください！

日本に住むすべての人と世帯が対象

5年に一度の最も重要な統計調査です

「日本に住む人や世帯」について知ることで、生活環境の改善や防災計画など、わたしたちの生活に欠かせない様々な施策に役立てられる大切な調査です。



国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項の規定に基づいて実施する人及び世帯に関する全数調査で、国及び地方公共団体における各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としています。

9月中旬より、調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類を郵便受けに入れるなどしてお配りします。ご協力をお願いします。

【調査期日】

令和2年（2020年）10月1日現在

【回答期間】

・インターネット回答期間：

令和2年9月14日（月）から10月7日（水）まで

・調査票（紙）での回答期間：

令和2年10月1日（木）から10月7日（水）まで

つながれ地域のお店 ⑥

美麻地区のお店をリレーで紹介します。

私達、工房ぐるりは夫婦で営む木工房で、主に食器や家具などを製作しています。

地域の材料も積極的に使用し、最近では地元の材料を使った机づくりワークショップや、美麻小中学校の森林学習授業にも関わらせて頂いています。

この8月に新行ランド向かいの森の中に工房を移転し、現在工房とショールームの新たなオープンを目指し準備中です。完成した際には是非お気軽にお立ち寄り下さい。



住所 大町市美麻14346

ホームページ <https://www.kobogururi.com/>



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・電子メール info@miasa.info